

「人生のやる気デザイン」研究部会（第33回）

日時：2023年3月17日（月）13:00～16:00

場所：オンライン

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員
金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

欠席：山口和人所長

内容：（1）倉住研究員報告：最近の未来展望研究に関するレビューとして、以下の論文を紹介

◆COVID-19 and Perceiving Finitude: Associations With Future Time

Perspective, Death Anxiety, and Ideal Life Expectancy. Rupperecht, Martin, Kamin, & Lang (2022) *Psychology and Aging*, 37, 260-271.

COVID-19によるパンデミックに対する負担や認識によって、個人の将来や人生に対する認識がどのように影響されるかについて検討した論文

（2）杉本研究員報告：グリット調査の結果概要を報告

◆2023年2月末、20代から50代の450人（男性226人、女性224人）に、オンラインで調査。下記の項目で検討、分析、考察

- ・各変数の記述統計
- ・年代と性別によるグリットの差の検討
- ・グリットと好奇心、パッションとの関連
- ・グリットと困難な目標への対処行動との関連
- ・グリットと能力の暗黙理論（マインドセット）、Well-beingとの関連

（3）中谷研究員報告：「多文化における児童・生徒の動機づけの諸問題」として、教育心理学研究における多文化と動機づけ研究の最新動向を探るために下記テキストを紹介、報告

◆Text 動機づけと達成の進歩 Vol. 20 (2020年)

Gonida, E. & Lemos, M. 2020 *Motivation in Education at a Time of Global Change: Theory, Research, and Implications for Practice. ADVANCES IN MOTIVATION AND ACHIEVEMENT*, Vol. 20 (Emerald Publishers)

達成と動機づけ研究の進歩：動機づけ研究の世界的な動向をまとめて2年～数年間に1度刊行される定期出版物。動機づけ科学(Motivational Science)の最先端における現代的課題を探求。世界中の著名な動機づけ研究者が集い、仕事や学校、遊びや余暇など、幅広い領域において、特定のテーマに関して議論。また、研究方法やスキルに関する内容も議論される

（4）今後の本研究会の進め方について

- これまでは、1回の研究会で3名が研究報告を行っていたが、考察や討論の充実のため4月以降研究報告者は1回2名と決定。
- 今後の報告者予定
 - 4月：榎本・中井
 - 5月：倉住・渡辺
 - 6月：杉本・中谷
- 研究会は特別の事情がない限り、毎月第4月曜日の13時からとする
- 対面かオンラインかはその都度決める。4月はオンライン

- 次回研究会 4月24日（月）13：00～
- 次々回研究会 5月22日（月）13：00～